

利用者名：デザイン学部 講師 相野谷 威雄



**Title:** Proposal on the Application Design Method of Aging-Friendly Smart Home System Based on User Experience Under Health Needs

(健康ニーズを踏まえたユーザー体験に基づく高齢者向けスマートホームシステムのアプリケーションデザイン手法の提案)

**Authors:** Zhang Jiaqia, Kasamatsu Keiko, Takeo Ainoya

(Zhang, Jiaqi, 笠松慶子 (東京都立大学), 相野谷 威雄 (東京工科大学))

**Journal:** Human Interface and the Management of Information(HCII 2024)

**掲載年月:** 2024 年 6 月

**研究概要:** スマートホームシステムは生活の利便性や安全性向上を目的に普及が進んでおり、そのニーズは年々高まっている。しかし、高齢者を対象とした既存のスマートホームシステムのユーザーエクスペリエンス (UX) デザインは未だ十分とは言えず、高齢者向けのアプリケーション設計においても具体的な UX デザインガイドラインが不足している。

**研究成果:** そこで本研究では、高齢者ユーザーに適したスマートホームアプリケーションの設計手法を確立することを目的とし、既存のアプリケーションデザインアプローチを理論的観点から深く検討した。また、高齢者が抱える健康ニーズに基づき、スマートホームシステムの UX デザインに関する既存理論をレビューし、ユーザーインタビューを実施してユーザーニーズの抽出を行った。さらに、類似製品の競合分析を通じてユーザーが直面している具体的な課題を特定し、製品の戦略的ポジショニングを明確化した。このプロセスを経て、多角的な視点から新たな UX デザインの指針を提案した。本研究で提案する手法を用いることで、高齢者向けスマートホームシステムの開発における設計効率を向上させ、より快適で安全かつ使いやすいユーザー体験の実現が可能になると期待される。

**社会的・学術的なポイント:** 本研究成果は、スマートホーム製品開発における具体的な指針を提供し、開発者のデザイン効率と高齢者ユーザーの満足度向上に貢献することを目指している。

#### 用語解説:

**ユーザーエクスペリエンス (UX)** : 製品やサービスを使用する際にユーザーが得る総合的な体験や感情。

**スマートホームシステム (Smart Home System)** : インターネットや AI 技術を活用し、快適性や利便性、安全性を向上させる家庭向け自動化システム。

**健康ニーズ (Health Needs)** : ユーザーが健康や安全に関して求める必要性や期待。